

# SR400 デコンプレバーキット

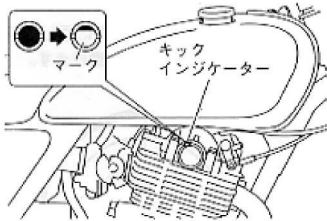
kit内容 【 デコンプレバー×1、デコンプシャフト×1  
M6×12mmボタンキャップ×1、M6ワッシャー×1 】

**注意** 必ず、取り付け・取り扱い前にお読み下さい。  
POSH☆Fait h製品を御買上げ頂き、誠にありがとうございます。POSH☆Fait h製品は全て以下のことを前提としております。  
ご熟読のうえご理解頂きますようお願い致します。  
1、取り付けは、車両本体メーカーのサービスマニュアルによる確かな知識及び、技術を持ったメカニックにより行われていること。  
2、商品は目的にあった正しい取り付け、取り扱いが行われていること。  
3、道路交通法及び、道路運送車両方を厳守すること。  
4、運行前点検及び、保守整備を必ず行うこと。以上のことを必ずお守りください。正しい取り付け、取り扱いが守られない使用において商品の品質に付いては保証出来ません。  
又、POSH☆Fait hは当社製品の品質に付いてのみ責任を持つものであり、修理工賃、整備費用やお車を使用できなかった事による不便及び損失など当初商品費、整備費用やお車を使用できなかった事による不便及び損失など、当社商品の品質以外のどのような事柄に対しても、責任を負いませんのでご承知おき下さい。

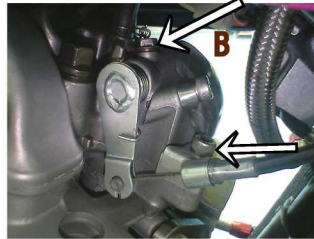
**注意！** 取り付けの際は必ずエンジンを切り、エンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。

## 純正デコンプ取り外し方法

- 1、デコンプレバーを引き、キックインジケータのマークが見えるまでゆっくり踏みます。【図1参照】この時、エキゾースト側のタペットカバーを開けロッカーアームがフリーの状態であることを確認して下さい。
- 2、Aのボルトを取り外し、ノーマルのデコンプケーブルブラケットとデコンプケーブル、デコンプレバーを取り外します。その後デコンプケーブルブラケットを固定していたAのボルトを元の位置に組み付けます。(組み付けトルク10Nm)【写真1参照】
- 3、ノーマルデコンプの(Spring)の止め位置、取り付けられ方をよく確認し、Bのボルトを取り外し、ピックツール等で(Spring)を引っ張りながらデコンプシャフトを引き抜きます。【写真1,2参照】  
※この、時無理に引き抜くとオイルシール等を傷つけ、オイル漏れの原因になります。



【図1】



【写真1】



【写真2】

## デコンプレバーキットの取り付け方法

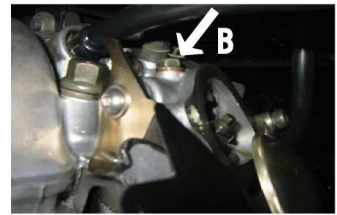
- ① デコンプキットのシャフト部にエンジンオイルを添付し、取り外した(Spring)を通してからデコンプキットをエンジンに差し込みます。【写真3参照】この時、純正デコンプ取り外し方法3で確認した位置(エンジン側)に(Spring)を先に引っ掛けておき、シャフトを差し込んだ後、(Spring)をピックツール等で引っ張りながら差し込み(Spring)をレバーに引っ掛けます。【写真4参照】  
※シャフトを取り付ける際、シャフトの角などでオイルシール等を傷つけないように注意して作業して下さい。オイルシール等を傷つけると、オイル漏れの原因になります。
- ② 純正デコンプ取り外し方法3で取り外したBのボルトをデコンプシャフトの溝に合うように調整して取付けます(取り付けトルク8Nm)。【写真3,5参照】
- ③ イグニッションOFFの状態キックペダルを踏み、通常通り使用出来る事を確認して下さい。



【写真3】



【写真4】



【写真5】

## 【使用方法】

純正と同じようにキックペダルを踏み、圧縮が上がりキックが降りなくなったところでレバーを引きゆっくりキックペダルを降ろし、キックインジケータのマークが見えたらレバーを離し、その後通常通りエンジンを始動させます。  
詳しくはSR400取り扱い説明書をご参照下さい。

## 【次の事を必ずお守り下さい】

- ★デコンプレバーは、エンジン内部でシャフト部分がロッカーアームを強制的に押し、バルブを押し出す事で、シリンダー内部の圧力を抜き、キックインジケータのマークを出しやすくする為のパーツです。必要以上の力を加える事や用途以外の使用、走行中の操作などは絶対おやめ下さい。  
デコンプシャフトが折れたり、ロッカーアーム等のエンジン部品に影響が出て大変危険です。
- ★赤丸Cのナット、ワッシャーは必ず純正を使用してください。純正以外のものを使用すると、デコンプレバーの可動範囲が広がってしまい、デコンプレバーやロッカーアームに負荷がかかり大変危険です。
- ★以上の事を十分理解し、必ず守ってご使用下さい。



**注意！** 耐熱ラバーコーティングをしていますが、長時間の走行後や暖気後には熱くなります。  
エンジン、エキゾーストパイプ等高温の物がすぐ近くに有るので、使用の際にはやけどに十分気を付けて下さい。

※定期的にガタ付きや緩みがないかをチェックして下さい。

POSH TOKYO 〒203-0031 東京都東久留米市南町4-2-8  
POSH OSAKA 〒590-0005 大阪府堺市南清水町1-7-14

TEL.042-450-5370 FAX.042-450-5371  
TEL.072-229-2468 FAX.072-229-8351